

生産は13業種で上昇し2カ月ぶりにプラス、消費は5カ月連続のプラス

2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2カ月ぶりに前月比プラスとなった。汎用・生産用機械工業（前月比+26.1%）や電子部品・デバイス工業（同+19.8%）など13業種が上昇した。

3月の大型小売店販売額（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で前年同月比+3.2%と5カ月連続のプラス、専門量販店別では、ドラッグストアが同+7.6%と34カ月連続のプラスとなった。

3月の有効求人倍率（季節調整済）は、前月比上昇の1.21倍となり、全国平均（1.26倍）を下回った。

各指数の矢印については現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数



2カ月ぶりに前月比上昇(2月)

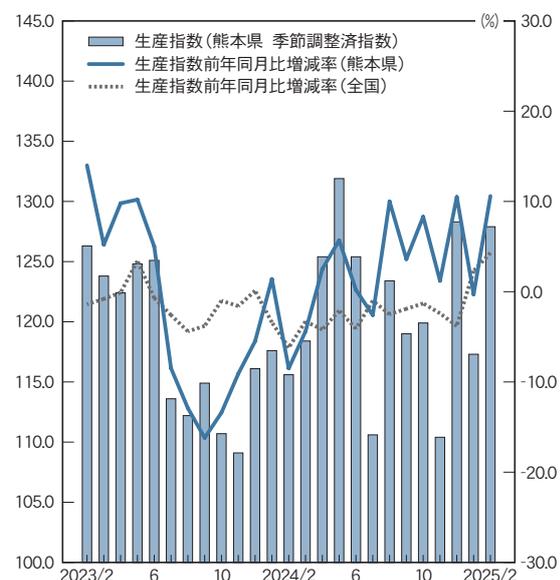
2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前月比+9.0%の127.9となり、2カ月ぶりに前月比で上昇した。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、汎用・生産用機械工業（前月比+26.1%）、電子部品・デバイス工業（同+19.8%）など13業種が上昇した。一方、輸送機械工業（同▲4.2%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同▲15.4%）など4業種が低下した。

業種別寄与度を見ると、汎用・生産用機械工業が+5.93ポイント、電子部品・デバイス工業が+3.63ポイント、電気機械工業が+1.08ポイントとなり、全体の生産指数を押し上げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路の生産指数（季節調整済み）は179.2（前月比+20.4%）となり、大幅に上昇した。

鉱工業生産指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値

資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工

着工戸数は前年比プラス(3月)

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+119.8%の1,622戸となり、4カ月ぶりのプラスとなった。

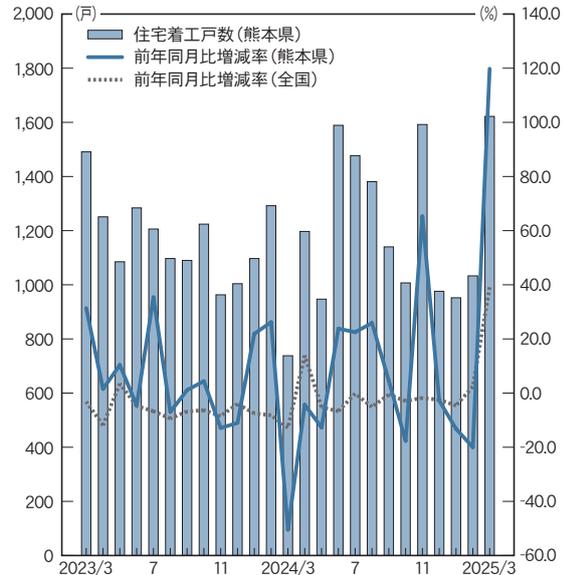
住宅着工戸数が前年同月比+119.8%と増加した背景には、省エネ基準への適合義務化といった2025年4月からの法改正が適用される前に着工を前倒しする駆け込み需要が発生したことがあげられる。

利用関係別にみると、持家が407戸（前年同月比+43.8%）、貸家は870戸（同+143.7%）、分譲は322戸（同+238.9%）となっている。

貸家は4カ月ぶりに前年同月比プラスとなった。また、持家の着工戸数も2カ月連続のプラスとなった。

なお、全国の3月の新設住宅着工戸数は、89,432戸（同+39.1%）となっており、2カ月連続のプラスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事

請負金額は前年比プラス(4月)

4月の公共工事件数は345件で前年同月比▲3.1%、請負金額は253億11百万円で同+

3.7%と、以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、[国に会員登録](#)、[入会手続き後](#)、[会員専用ページ](#)よりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)

公共工事請負金額前年同月比

